



Dell EMC PowerEdge サーバー用 Microsoft Windows Server 2019

リリースノート

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2019 ~ 2020 Dell Inc. またはその関連会社。。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

1 リリースの概要	4
優先度と推奨事項.....	4
2 互換性	5
iDRAC、BIOS、システムファームウェア、RAID コントローラドライバのバージョン.....	5
Microsoft Windows Server 2019 でサポートされている Dell EMC システム管理アプリケーション.....	6
設定不要のドライバーをサポートしているデバイス.....	6
インボックス サポート付きドライバー.....	7
3 解決策	8
I/O エラーまたは応答しない仮想マシン.....	8
NVDIMM ストレージ プールを削除できない.....	8
4 既知の問題—将来のリリースで修正予定	9
PowerEdge サーバーでチップセットまたは Broadcom 1GB の設定不要のドライバーをインストールすると BSOD が発生する.....	9
カスタマイズされた Windows Server 2019 オペレーティング システムを Gen 1 および Gen 2 の仮想マシンにインストールすると、複数の障害が発生する.....	10
5 Windows Server 2019 のインストールとアップグレード	11
Windows Server 2019 のための多言語オペレーティング システム メディア.....	11
多言語 DVD メディアを使用した OS の導入.....	11
事前インストールされた VM.....	11
事前インストールされた VM の使用.....	12
Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) IP アドレスの取得.....	12
PowerEdge サーバに Microsoft Windows Server 2019 をインストールする.....	12
以前のバージョンの Windows Server から Windows Server 2019 へのアップグレード.....	12
6 リソースとサポート	13
Dell EMC PowerEdge サーバー用のオペレーティング システム サポート マトリックス.....	13
Dell EMC PowerEdge サーバ用の Microsoft Windows Server 2019 のビデオ.....	13
マニュアルリソース.....	13
Dell EMC PowerEdge サーバーのシリーズの特定.....	15
ドライバーとファームウェアのダウンロード.....	16
マニュアルのフィードバック.....	16
7 Dell EMC へのお問い合わせ	17

リリースの概要

Microsoft Windows Server 2019 は、Windows Server 2016 オペレーティング システムの後継のオペレーティング システム (OS) リリースです。Windows Server 2019 の主な機能拡張は、セキュリティおよびゲスト オペレーティング システムの改善です。Microsoft は、このリリースで特にクラウドおよびホスティング プロバイダーを対象としています。

以前のリリースの詳細については、次のリンクをクリックしてください。

- ・ [Windows Server 2016](#)
- ・ [Windows Server 2012 R2](#)

トピック：

- ・ [優先度と推奨事項](#)

優先度と推奨事項

推奨：このアップデートを次回にスケジュールされたアップデート サイクルで適用することを推奨します。このアップデートには、システム ソフトウェアを最新に保ち、その他のシステム モジュール (ファームウェア、BIOS、ドライバー、ソフトウェア) との互換性を維持するために役立つ機能の拡張または変更が含まれています。

トピック：

- ・ iDRAC、BIOS、システムファームウェア、RAID コントローラドライバのバージョン
- ・ Microsoft Windows Server 2019 でサポートされている Dell EMC システム管理アプリケーション
- ・ 設定不要のドライバーをサポートしているデバイス
- ・ インボックス サポート付きドライバー

iDRAC、BIOS、システムファームウェア、RAID コントローラドライバのバージョン

Dell EMC PowerEdge サーバーでサポートされている Microsoft Windows Server オペレーティングシステムの最新のリストについては、[を参照してください](#)。

メモ: PowerEdge サーバーは、汎用の命名規則を使用して表されます。サーバー モデルの範囲を特定するには、「[Dell EMC PowerEdge サーバーのシリーズの特定](#)」を参照してください。

表 1. サポート プラットフォーム、および yx5x PowerEdge サーバーでサポートされている BIOS および iDRAC の最小バージョン

プラットフォーム	Essentials	Standard	Datacenter	BIOS バージョン	iDRAC バージョン
C6525	いいえ	はい	はい	1.0.1	3.42.42.42
R6515	いいえ	はい	はい	1.0.4	3.40.40.40
R6525	いいえ	はい	はい	1.0.0	3.42.42.42
R7515	いいえ	はい	はい	1.0.4	3.40.40.40
R7525	いいえ	はい	はい	1.2.11	4.10.10.10

表 2. サポート プラットフォーム、および yx4x PowerEdge サーバーでサポートされている BIOS および iDRAC の最小バージョン

プラットフォーム	Essentials	Standard	Datacenter	BIOS バージョン	iDRAC バージョン
C4140	いいえ	はい	はい	1.6.11	3.21.23.23
C6420	いいえ	はい	はい	1.6.11	3.21.23.23
FC640	いいえ	はい	はい	1.6.11	3.21.23.23
M640	いいえ	はい	はい	1.6.11	3.21.23.23
R240	はい	はい	いいえ	1.0.1	3.21.23.23
R340	はい	はい	いいえ	1.0.1	3.21.23.23
R440	いいえ	はい	はい	1.6.11	3.21.23.23
R540	いいえ	はい	はい	1.6.11	3.21.23.23
R640	いいえ	はい	はい	1.6.11	3.21.23.23
R6415	いいえ	はい	はい	1.6.11	3.21.23.23
R740xd	いいえ	はい	はい	1.6.11	3.21.23.23
R740xd2	いいえ	はい	はい	1.0.4	3.21.23.23
R7415	いいえ	はい	はい	1.6.11	3.21.23.23
R7425	いいえ	はい	はい	1.6.11	3.21.23.23
R840	いいえ	はい	はい	1.6.11	3.21.23.23

プラットフォーム	Essentials	Standard	Datacenter	BIOS バージョン	iDRAC バージョン
R940	いいえ	はい	はい	1.6.11	3.21.23.23
R940xa	いいえ	はい	はい	1.6.11	3.21.23.23
T140	はい	はい	いいえ	1.0.1	3.21.23.23
T340	はい	はい	いいえ	1.0.1	3.21.23.23
T440	いいえ	はい	はい	1.6.11	3.21.23.23
T640	いいえ	はい	はい	1.6.11	3.21.23.23
MX740c	いいえ	はい	はい	1.6.11	3.21.23.23
MX840c	いいえ	はい	はい	1.6.11	3.21.23.23

表 3. サポート プラットフォーム、および yx3x PowerEdge サーバーでサポートされている BIOS および iDRAC の最小バージョン

プラットフォーム	Essentials	Standard	Datacenter	BIOS バージョン	iDRAC バージョン
C4130	いいえ	はい	はい	2.8.0	2.61.60.60
C6320	いいえ	はい	はい	2.8.0	2.61.60.60
FC430	いいえ	はい	はい	2.8.0	2.61.60.60
FC630	いいえ	はい	はい	2.8.0	2.61.60.60
FC830	いいえ	はい	はい	2.8.0	2.61.60.60
M630	いいえ	はい	はい	2.8.0	2.61.60.60
M630p	いいえ	はい	はい	2.8.0	2.61.60.60
M830	いいえ	はい	はい	2.8.0	2.61.60.60
M830p	いいえ	はい	はい	2.8.0	2.61.60.60
R230	はい	はい	いいえ	2.5.0	2.61.60.60
R330	はい	はい	いいえ	2.5.0	2.61.60.60
R430	いいえ	はい	はい	2.8.0	2.61.60.60
R530	いいえ	はい	はい	2.8.0	2.61.60.60
R630	いいえ	はい	はい	2.8.0	2.61.60.60
R730/R730xd	いいえ	はい	はい	2.8.0	2.61.60.60
R830	いいえ	はい	はい	1.8.0	2.61.60.60
R930	いいえ	はい	はい	2.5.3	2.61.60.60
T130	はい	はい	いいえ	2.5.0	2.61.60.60
T330	はい	はい	いいえ	2.5.0	2.61.60.60
T430	いいえ	はい	はい	2.8.0	2.61.60.60
T630	いいえ	はい	はい	2.8.0	2.61.60.60


Microsoft Windows Server 2019 でサポートされている Dell EMC システム管理アプリケーション

Dell OpenManage 9.2.1以降は、Microsoft Windows Server 2019 をサポートしています。Dell OpenManage のインストールの詳細については、の『OpenManage System Management インストール ガイド』を参照してください。

設定不要のドライバーをサポートしているデバイス

Windows Server 2019 では、次のドライバーに設定不要のサポートが付属しています。

- ・ yx5x PowerEdge サーバー用 AMD チップセット ドライバー
- ・ yx4x PowerEdge サーバー用 AMD チップセット ドライバー
- ・ yx4x PowerEdge サーバー用 Intel チップセット ドライバー
- ・ yx3x PowerEdge サーバー用 Intel チップセット ドライバー
- ・ Dell EMC PERC S150 ドライバー
- ・ Dell EMC PERC S140 ドライバー
- ・ Dell EMC PERC S130 ドライバー
- ・ Broadcom NetXtreme ドライバー
- ・ Emulex ネットワーク ドライバー
- ・ QLogic ネットワーク ドライバー
- ・ Mellanox ネットワーク ドライバー

 **メモ:** PowerEdge サーバーは、汎用の命名規則を使用して表されます。サーバー モデルの範囲を特定するには、「[Dell EMC PowerEdge サーバーのシリーズの特定](#)」を参照してください。

インボックス サポート付きドライバー

Windows Server 2019 では、次のドライバーにインボックス サポートが付属しています。

- ・ Dell EMC PERC 10 ファミリー ドライバー
- ・ Dell EMC PERC 9 ファミリー ドライバー
- ・ Broadcom NetXtreme ドライバー
- ・ Emulex ネットワーク ドライバー
- ・ Intel ネットワーク ドライバー
- ・ QLogic ネットワーク ドライバー
- ・ Mellanox ネットワーク ドライバー

インボックス サポートが付かないドライバーの詳細については、[OS およびアプリケーションのナレッジベース](#)を参照してください。

最新のドライバー アップデートについては、[を参照してください](#)。

I/O エラーまたは応答しない仮想マシン

説明	この問題は、フェールオーバー クラスター用に構成されており、マルチパス I/O (MPIO) を有効にしている複数の仮想マシンをホストしている共有ストレージを接続している Dell EMC ハードウェアで発生します。PowerEdge MX5016s ストレージ エクスパンダー モジュールを複数回取り外して取り付けた場合、または PowerEdge MX5000s SAS I/O モジュールを取り外して取り付けた場合、I/O エラーが発生し、仮想マシンが応答しなくなったり、障害が発生したりします。この問題により、クラスター共有ボリュームが障害状態になる場合があります。
修正	<ol style="list-style-type: none"> 最新のサービス スタック アップデート (SSU) をインストールし、https://support.microsoft.com/en-us/help/4457127 以降の累積アップデートでアップデートします。 レジストリー キー Reg_DWORD を作成し、すべてのクラスター ノードで次のレジストリー パスに値 0x1 を設定します。 <code>HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\StorPort\QoSFlags.</code> ノードを再起動して、レジストリー キーを有効にします。
影響を受けるシステム	<ul style="list-style-type: none"> PowerEdge MX740c または PowerEdge MX840c コンピューティング ノードと PowerEdge MX5016s ストレージ スレッドを搭載した PowerEdge MX7000 シャーシ。 外付けストレージ アレイが接続されている Rx4x または Tx4x PowerEdge サーバー。
トラッキング番号	103498

NVDIMM ストレージ プールを削除できない

説明	ストレージ プールは、NVDIMM をストレージ ドライブに変換することによって作成されます。ストレージ プールを削除すると、プールの状態は「削除済み」と表示されますが、ドライブの再スキャン後にストレージ プールが再表示されます。
修正	https://support.microsoft.com/en-us/help/4490481 で使用可能な Windows の累積アップデート KB4490481 または最新のアップデートを使用します。
影響を受けるシステム	PowerEdge R640、T640、R740、R740XD、R940、R840、R940xa、Mx740c、Mx840c
トラッキング番号	113286

既知の問題—将来のリリースで修正予定

トピック：

- PowerEdge サーバーでチップセットまたは Broadcom 1 GB の設定不要のドライバーをインストールすると BSOD が発生する
- カスタマイズされた Windows Server 2019 オペレーティングシステムを Gen 1 および Gen 2 の仮想マシンにインストールすると、複数の障害が発生する


PowerEdge サーバーでチップセットまたは Broadcom 1 GB の設定不要のドライバーをインストールすると BSOD が発生する

説明

チップセット ドライバーのインストール時、またはシステムの Broadcom の設定不要ドライバーのインストール中に、ブルースクリーン (BSOD) が発生し、IRQL NOT LESS OR EQUAL という Stop エラーコードが表示されます。この問題は、次のいずれかのシステム構成で発生します。

- システム BIOS で x2APIC が有効になっている Dell EMC yx3x または yx4x PowerEdge システムで、GPU などの PCIe デバイスを搭載し、Windows Server 2019、Windows Server 2016、または Windows Server 2012 R2 を実行している。
- Dell EMC yx4x PowerEdge システムで、Windows Server 2019 を実行し、Broadcom 1 GB ネットワーク アダプターを搭載している。

BSOD は、次のいずれかのインストール方法で、チップセット ドライバーまたは Broadcom 1 GbE の設定不要ドライバーのインストール中に発生します。

- PowerEdge サーバーにドライバーを手動でインストールする場合。
 **メモ: PowerEdge サーバーは BSOD 後にオペレーティングシステムを起動しますが、ドライバーは正常にインストールされません。**
- オペレーティングシステムのインストール中に、Dell EMC Lifecycle Controller 導入ウィザードを活用する場合。

回避策

チップセット ドライバーをリカバリし、正常にアップデートするには、お使いのシステム構成に基づいて次の手順を実行します。

システム構成 1：

システムに Broadcom 1 GB LAN-on-Motherboard (LOM) または Broadcom アドオン PCIe ネットワーク カードがある場合は、次の手順を実行します。

- 内蔵ネットワーク カードを無効にするには、[システム BIOS 設定] > [内蔵デバイス] > [内蔵ネットワーク カード] の順に選択して移動します。
- [無効 (OS)] を選択します。
- オペレーティングシステムがすでにインストールされている場合は、Windows Server オペレーティングシステムをインストールするか、既存の Windows Server オペレーティングシステムを起動します。
- Broadcom の設定不要ドライバーをインストールしてから、チップセット ドライバーをインストールします。プロンプトが表示されたら、システムを再起動します。
- [システム BIOS 設定] > [内蔵デバイス] の順に選択して移動し、[内蔵ネットワーク カード] を有効にして、Windows Server オペレーティングシステムを起動します。

-  **メモ: BSOD のトラブルシューティングを行い、チップセット ドライバーまたは Broadcom の設定不要ドライバーをインストールするには、「同梱の Broadcom ネットワーク アダプター ドライバーをアップデートするときに Stop エラーが発生する」を参照してください。**

システム構成 2：

システムに GPU PCIe デバイスがある場合は、次の手順を実行します。

1. [システム BIOS] > [プロセッサ設定] の順に選択して移動し、**x2APIC** モードの設定を無効にします。
2. ドライバーをインストールします。
 - a. Windows Server 2019、Windows Server 2016、または Windows Server 2012 R2 を起動し、GPU ベンダーの Web サイトから GPU の設定不要ドライバーをダウンロードしてインストールし、プロンプトが表示されたらシステムを再起動します。
 - b. チップセットのドライバーをダウンロードした場所を参照し、新しいファイルをダブルクリックします。
 - c. ダイアログ ボックスのリリース情報を読みます。
 - d. 先に進む前に、ダイアログ ボックスに記載されている動作条件のタスクを完了します。
 - e. [インストール] をクリックします。残りのプロンプトに従って、ドライバーをアップデートします。
3. チップセットのドライバーをインストールした後で、[システム BIOS] > [プロセッサ設定] の順に選択して移動し、**x2APIC** モードを有効にします。

影響を受けるシステム

次のいずれかの条件に該当するシステム：

- ・ システム BIOS で x2APIC が有効になっている Dell EMC yx3x または yx4x PowerEdge システムで、GPU などの PCIe デバイスを搭載し、Windows Server 2019、Windows Server 2016、または Windows Server 2012 R2 を実行している。
- ・ Dell EMC yx4x PowerEdge システムで、Windows Server 2019 を実行し、Broadcom 1GB ネットワーク アダプターを搭載している。

トラッキング番号 123021、88882、92653、154665、111848、106976

カスタマイズされた Windows Server 2019 オペレーティングシステムを Gen 1 および Gen 2 の仮想マシンにインストールすると、複数の障害が発生する

説明

デル提供の多言語オペレーティングシステムメディアを使用して仮想マシンを作成した場合、仮想マシンでオペレーティングシステムのインストールを開始するときにさまざまな障害が発生する可能性があります。仮想メモリーが1GB以下のメモリーで割り当てられている場合に、この問題が発生する可能性があります。Gen1 VM での BSOD または次のようなエラーメッセージが表示されることがあります。

```
Insufficient ramdisk with Gen 2 VM
```

回避策

デル提供の多言語オペレーティングシステムメディアを使用する場合は、1.5 GB 以上のメモリーを割り当てます。VM の機能を向上させるには、最大のメモリー容量を割り当てることをお勧めします。

影響を受けるシステム

すべてのシステム

トラッキング番号 148171

Windows Server 2019 のインストールとアップグレード

トピック：

- ・ Windows Server 2019 のための多言語オペレーティング システム メディア
- ・ 事前インストールされた VM
- ・ PowerEdge サーバに Microsoft Windows Server 2019 をインストールする
- ・ 以前のバージョンの Windows Server から Windows Server 2019 へのアップグレード

Windows Server 2019 のための多言語オペレーティング システム メディア

Windows Server 2019 のリリースにおいて、PowerEdge サーバには対応言語のリストを提供する多言語オペレーティング システム インターフェイスが同梱されています。初めてシステムに電源を入れるとき、または Dell EMC 提供のメディアを使用してオペレーティング システムを再インストールするときに、希望のオペレーティング システム言語を選択することができます。

多言語 DVD メディアを使用した OS の導入

多言語 DVD メディアを使用して OS を導入するには、次の手順を実行します。

1. OS メディアから起動します。
2. [言語の選択] 画面から希望の言語を選択し、画面の指示に従います。

簡体字中国語および繁体字中国語のイメージは個別の DVD で提供されています。

Windows Server 2019 の詳細なインストール手順については、『Dell EMC PowerEdge サーバ向け Microsoft Windows Server 2019 インストール ガイド』() を参照してください。

事前インストールされた VM

www.dell.com/en-us/work/shop/ecat/enterprise-products でサーバをオーダーするときに [Hyper-V 役割の有効化] を選択した場合は、事前インストールされた仮想マシンが提供されます。Hyper-V マネージャーと共にお使いのサーバの C:\Dell_OEM\VM で使用可能な仮想マシン ファイルを使用して、仮想マシンをこのシステムにインポートすることができます。Microsoft の通常のライセンス制限に従います。ライセンス諸条件についての詳細は、お使いの製品に同梱の『エンド ユーザー ライセンス契約』を参照してください。

C:\Dell_OEM\VM で使用可能な VM で、セットアップ プロセス中にオペレーティング システムの言語を選択することができます。この VM に接続されている仮想ディスク (VD) は、動的に拡張され、最大 127 GB まで拡張可能で、固定ディスクに変換することができます。仮想ディスク容量を増やすには、仮想ディスクを作成し、それを同じ VM に接続します。Dell EMC によって提供される仮想ディスクを動的な拡張から固定に変換する前に、お使いのサーバに少なくとも 127 GB のディスク領域があることを確認してください。

Windows Server Datacenter Edition には、無制限の数の VM インスタンスを含める権利があります。これらの VM は Microsoft の自動仮想マシン アクティベーション (AVMA) プロセスを使用して自動的にアクティブ化されます。詳細については、www.docs.microsoft.com/en-us/windows-server/get-started-19/vm-activation-19 で「自動仮想マシン アクティベーション」を参照してください。

Windows Server Standard Edition には、2 つの VM インスタンスに対する権利が含まれています。ただし、VM を 2 台ずつ増やすことができる追加の VM ライセンスを使用することができ、個別に購入することができます。


事前インストールされた VM の使用

事前インストールされた VM を使用するには、次の手順を実行します。

1. オペレーティングシステムで **Hyper-V Manager (Hyper-V マネージャー)** に移動します。
2. **Hyper-V マネージャー** でサーバーを右クリックします。
3. [**仮想マシンのインポート**] を選択します。
4. **仮想マシンのインポート ウィザード** で、仮想マシンが作成されているパスに移動し、仮想マシン ファイルを開きます。

sysprepped VHDx ファイルを使用して作成された VM をアクティブ化するには、システムに貼られている Certificate of Authenticity (COA) ステッカー上の仮想製品キーを使用します。お使いのサーバーにオペレーティングシステムのデータセンターエディションが同梱されている場合は、Microsoft の自動仮想マシン アクティベーション (AVMA) キーを使用して VM を自動でアクティブ化することができます。AVMA キーのアクティブ化方法についての詳細は、www.technet.microsoft.com で「**自動仮想マシン アクティベーション**」を参照してください。

システムを実稼働環境に設置する前に、標準的な方法を用いてセキュリティアップデートを実行することができます。

 **注意:** VM のバックアップの作成をお勧めします。データの損失または破損がある場合、Dell EMC は交換用ファイルを提供しません。

Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) IP アドレスの取得

iDRAC の IP アドレスを取得するには、PowerShell を開いて、CLI で次のコマンドを実行します。

```
Get-PCSVDevice | fl IPV4Address
```

PowerEdge サーバに Microsoft Windows Server 2019 をインストールする

動作条件、インストール、および設定についての情報は、で『Dell EMC PowerEdge サーバ用 Microsoft Windows Server 2019 インストール ガイド』を参照してください。

以前のバージョンの Windows Server から Windows Server 2019 へのアップグレード

Dell EMC は、Windows Server 2012 R2 または Windows Server 2016 から Windows Server 2019 へのインプレース アップグレードをサポートしません。

リソースとサポート

Dell EMC PowerEdge サーバー用のオペレーティング システム サポート マトリックス

Windows Server オペレーティング システムは、選択した Dell EMC PowerEdge サーバーにのみインストールできます。Dell EMC PowerEdge サーバーとサポートされているオペレーティング システムのリストについては、で「Microsoft Windows Server オペレーティング システムのサポート」を参照してください。

Dell EMC PowerEdge サーバ用の Microsoft Windows Server 2019 のビデオ

表 4. Dell EMC PowerEdge サーバ用の Microsoft Windows Server 2019 のビデオ

ビデオのタイトル	リンク
Dell EMC Lifecycle Controller を使用した UEFI モードの Microsoft Windows 2019 オペレーティング システムのインストール	https://www.youtube.com/watch?v=3uCuQKNIQpY
UEFI モードでの Microsoft Windows 2019 オペレーティング システムの手動インストール	www.youtube.com/watch?v=T7UpmwS5Ba4

マニュアルリソース

本項では、お使いのサーバーの文書リソースに関する情報を提供します。

表 5. お使いのシステムのその他の文書リソース

タスク	文書	場所
サーバーのセットアップ	ラックへのサーバーの取り付けについての情報は、お使いのサーバーに同梱されているラック ソリューションに付属のマニュアルを参照してください。 サーバーの起動と仕様詳細については、サーバーに同梱のクイック スタート ドキュメントまたはクイック セットアップ ドキュメントを参照してください。	
サーバーの設定	iDRAC 機能、iDRAC の設定と iDRAC へのログイン、およびサーバーのリモート管理についての情報は、お使いの iDRAC バージョンのユーザー ガイドを参照してください。 オペレーティング システムのインストールについての情報は、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。	

タスク	文書	場所
サーバーの管理	<p>Remote Access Controller Admin (RACADM) サブコマンドとサポートされている RACADM インターフェイスを理解するための情報は、『iDRACx バージョン x.xx.xx.xx RACADM CLI ガイド』を参照してください。</p> <p>ドライバーおよびファームウェアのアップデートについての情報は、本書の「ドライバーとファームウェアのダウンロード」トピックを参照してください。</p>	
	<p>Dell EMC が提供するサーバー管理ソフトウェアについての情報は、『Dell EMC OpenManage Systems Management 概要ガイド』を参照してください。</p>	
	<p>OpenManage のセットアップ、使用、およびトラブルシューティングについての情報は、『Dell EMC OpenManage Server Administrator ユーザーズガイド』を参照してください。</p>	
	<p>Dell EMC OpenManage Essentials のインストール、使用、およびトラブルシューティングについての情報は、『Dell EMC OpenManage Essentials ユーザーズガイド』を参照してください。</p>	
	<p>Dell SupportAssist のインストールおよび使用についての情報は、『Dell EMC SupportAssist Enterprise ユーザーズガイド』を参照してください。</p>	
	<p>Dell EMC Lifecycle Controller (LC) の機能を理解するには、『Dell Lifecycle Controller ユーザーズガイド』を参照してください。</p>	
	<p>パートナー プログラムのエンタープライズシステム管理についての詳細は、OpenManage Connections Enterprise Systems Management のマニュアルを参照してください。</p>	
	<p>Dell EMC Chassis Management Controller (CMC) を使用した、インベントリーの表示、設定タスクと監視タスクの実行、リモートでのサーバー電源のオン/オフ、およびサーバーとコンポーネント上のイベントに対するアラートの有効化については、『CMC ユーザーズガイド』を参照してください。</p>	
Dell EMC PowerEdge RAID コントローラの操作	<p>Dell EMC PowerEdge RAID コントローラ(PERC)の機能を理解し、PERC カードを導入するための情</p>	

タスク	文書	場所
イベントおよびエラーメッセージの理解	報は、ストレージコントローラーのマニュアルを参照してください。 システムファームウェア、およびサーバーコンポーネントを監視するエージェントによって生成されたイベントメッセージおよびエラーメッセージのチェックについての情報は、『Dell EMC イベントおよびエラーメッセージリファレンスガイド』を参照してください。	> OpenManage ソフトウェア
システムのトラブルシューティング	PowerEdge サーバーに関する問題の識別およびトラブルシューティングについての情報は、サーバーのトラブルシューティングガイドを参照してください。	

Dell EMC PowerEdge サーバーのシリーズの特定

Dell EMC サーバーの PowerEdge シリーズは、構成に基づいて異なるカテゴリに分けられています。簡単に参照できるように、これらは YX2X、YX3X、YX4X、YX4XX、YX5XX の各サーバーシリーズと呼ばれます。命名規則の構造は次のとおりです。

文字 Y は、サーバーのモデル番号のアルファベットを示します。アルファベットはサーバーのフォームファクターを表します。フォームファクターの表記は、次のとおりです。

- ・ クラウド (C)
- ・ 柔軟性 (F)
- ・ モジュラー (M または MX)
- ・ ラック (R)
- ・ タワー (T)

文字 X は、サーバーのモデル番号の数字を表します。数字は、サーバーに関する複数の事項を表します。

- ・ 最初の桁 (X で表される) は、サーバーのバリュー ストリームまたはクラスを示します。
 - ・ 1~5 : iDRAC basic
 - ・ 6~9 : iDRAC Express
- ・ 2 桁目は、サーバーのシリーズを表します。サーバーの命名規則に含まれており、文字 X に置き換えることはありません。
 - ・ 0 : シリーズ 10
 - ・ 1 : シリーズ 11
 - ・ 2 : シリーズ 12
 - ・ 3 : シリーズ 13
 - ・ 4 : シリーズ 14
 - ・ 5 : シリーズ 15
- ・ 3 桁目 (X で表される) は、サーバーがサポートする一連のプロセッサソケットの数を示します。これは、PowerEdge サーバーのシリーズ 14 以降にのみ当てはまります。
 - ・ 1 : ソケット サーバー 1 台
 - ・ 2 : ソケット サーバー 2 台
- ・ 最後の桁 (X で表される) は、常に、次に示すようにプロセッサの製造元を示します。
 - ・ 0 : インテル
 - ・ 5 : AMD

表 6. PowerEdge サーバーの命名規則と例

YX3X サーバー	YX4X システム	YX4XX システム	YX5XX
PowerEdge M630	PowerEdge M640	PowerEdge R6415	PowerEdge R6515
PowerEdge M830	PowerEdge R440	PowerEdge R7415	PowerEdge R7515


YX3X サーバー	YX4X システム	YX4XX システム	YX5XX
PowerEdge T130	PowerEdge R540	PowerEdge R7425	PowerEdge R6525

ドライバーとファームウェアのダウンロード

お使いのシステムには、最新の BIOS、ドライバ、およびシステム管理ファームウェアをダウンロードしてインストールすることをお勧めします。

ドライバとファームウェアをダウンロードする前に、ウェブブラウザのキャッシュをクリアするようにしてください。

1. にアクセスします。
2. [ドライバーおよびダウンロード] セクションで、[デルのサービス タグ、Dell EMC の Product ID (製品 ID)、またはモデルを入力してください。] テキスト ボックスにお使いのシステムのサービス タグを入力し、右矢印ボタンをクリックします。

 **メモ:** サービス タグがない場合は、[PCを検出] をクリックして、システムにサービス タグを自動的に検出させます。

3. [ドライバーおよびダウンロード] をクリックします。
適用可能なダウンロードのリストが表示されます。
4. ドライバまたはファームウェアを、USB ドライブ、CD、あるいは DVD にダウンロードします。

マニュアルのフィードバック

任意の Dell マニュアルページでマニュアルを評価、またはフィードバックを書き、**Send Feedback** (フィードバックの送信) をクリックしてフィードバックを送信することができます。

Dell EMC へのお問い合わせ

Dell EMC では、オンラインおよび電話ベースのサポートとサービス オプションをいくつかご用意しています。サポートとサービスは国、地域、および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。

セールス、テクニカル アシスタンス、またはカスタマーサービスに関する Dell EMC へのお問い合わせは、www.dell.com/contactdell を参照してください。

お使いのコンピューターがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、または製品カタログで連絡先をご確認ください。